
極悪人の様なお顔の方と縁があります。

西井真崎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

極悪人の様なお顔の方と縁があります。

【Nコード】

N2201V

【作者名】

西井真崎

【あらすじ】

主人公？は天才・奇才の魔術師です。ちよっぴり腹黒いひねくれ者な主人公？は死後幽霊になり、国中をあっちへふらふら、こっちへふらふらとイタズラしたり、ドロツドロの愛憎劇の観察（と言ふ名の傍観）をしたり、生前出来なかつたをしながら幽霊生活をエンジョイします。 - 今は極悪人の様なお顔の方とは出逢っていません - 初心者？ですので期待せずにみてくださいm(´`´)m

魔術は設定が甘いかも

不定期更新となります

生前のお話です。

ハローハロー。はじめまして、こんにちは。私、この物語の主人公？にして傍観者の・・・と申します。

えっ名前が聞こえない？そりやそうですよ！

私ってばもう、死んじゃってるんですもん。自分の名前なんて、ハツと気づけばお〜もいだってせなくいつてなカンジになってたわけなのです。

それにしても悲壮感がなくね？って思ったそこのあなた、イイ疑問です。

そこはあれですよ。(どこだ！と言うツツコミはなしで！)そんな思い出せないことを考えてるよりも、おもしろい事を沢山見つけちゃって、その観察(という名の傍観行為)やらにいそがしくていそがしくて。それがなんだか知りたい？まあ、だいたいは予想がついてると思うので、ここから回想スタート！！(ほわん、ほわん、ほわわ〜ん)

私、生きていた頃は天才、奇才と呼ばれて、特に魔術に関して右に出る者は居なかつたんです。歴史書にも載ってるんですよ。

まあ、身体が弱かつたからって事もあるんだけど。ベットの上になんかズ〜っとしてるのってスツツゴイ暇なのよね。それでいてできることって極端に少ないし、もうやってらんねえ。って何度思った事か！！

そんな時に見つけたのが、魔術だったの！魔術を多少使える様になった時、魔術で部屋の中の物をベットの中にながら取れた時、これだっと思ってたね！

魔力量は異常に多かつたし。でもそのせいで身体が弱かつたりす

るからコレってどうなの！？とも思わないでもなかったんだけど。

でも、既存の魔術じゃ無駄があり過ぎのうえに魔術は攻撃！って考えが一般的で読んだ本、ぜんぶ攻撃魔術の事しか書いてなかったし、書いてあったとしてもちよこっとしか書いてないし、し・か・も！攻撃に比べて雑過ぎて、だんだん腹立って来ちゃってこれなら私が創った方がましよ！と思った瞬間、ハッと目からウロコが何枚も落ちたわね。

それから朝から晩までずっと魔術構成を考え続けて三日目、ようやく補助魔術の雛型を創る事ができたわ。考え過ぎて情報処理が出来ずに寝込んだりしなければもっと早くに終わったのよ！でもしよつがないじゃない、あの時私はまだ6歳になったばかりだったんだから！（ふつうの6歳にそんな事逆立ちしたって出来ねーよ。なんて言葉いらないわ。私なら出来て当然なもの。それがたかが情報処理くらいで寝込むなんて！そのせいで一層周りが過保護になっちゃって、その後の研究がまったく進まなかったわ。まだまだ改良する所がたくさんあったのに、私が考え事をしているとすぐに邪魔をして！普通に使える様になったのは1ヶ月後よ！まあ私ってばお嬢様だったし、身体弱かったし、お父様が心配してたのはわからないでもないんだけどね？）

初めて出来た魔術は常に風を纏わせて私の弱い身体を補助してくれるもので、私の少ない体力の中からほんのちよつとの力しか使わなから長く動ける様になったし、行きたい所には、転移の魔術を開発したからそれで行けばいいしね。

そんなこんなで普通に歩ける様になったのは8歳から9歳くらいの頃かしら。その頃には誰から視ても健康になったかの様に振る舞っていました。研究してたいのに寝てなきゃダメだつて言うんですよ。私の身体が弱いのは魔力の大きさに対して身体が半分くらいの強度しか持っていない事です。だから治ったと思われてた方が良かったんですよ。だって絶対に治る事がないんですもん。私だって色々考えたんですよ？私の余剰分の魔力を他の物に移動させられない

のかとか。結果は無理でした。普通の宝石とかに移動させても2、3日で回復してしまうんですよ！しかもだんだんと回復時間早くなつて来て今では移動させた1、2分後には完全回復ですよ！！もう諦めましたよ別に身体がただ単に弱いつてだけで他に異常はありませんでしたしね！べつ別になんで……OTLとかなつてませんからね！！

おかげ、と言うのも変ですが普通の宝石がごとく超レア物のS級魔石に早変わりしてしまいました。私の魔力量つて一体……。他にも魔力を抜いた後、何がおきるか分からなかったので、解析や防御など様々な魔術を開発しました。あつ一応封印の魔術も開発したかと言えはしました……。こちらは最初の内、5日保つたんです……でも結局結果はおんなじでした。今ではどんなに強力な封印ですらものの2、30秒で解けるんです！やっつてられるかコンチクショー！！

つと大変お見苦しい所をお見せしてしまいました。そんな非常識な魔力せいで6年後、つまり12歳の時に私はすっかりひねくれ者になってしまいました。

まあ、その後は紆余曲折があつて人の不幸が何よりの娯楽、と思う様に成りましたよ。

そんなこんなで私が15歳の時ですかね、あの頃の私はある魔術実験をしていたんですけど、天才つて罪ですね、どっかの誰かが魔陣をいじくつてたみたいで、魔力を流したらドツカ〜ンですよ。まあどうせあの魔力に耐えられたのつて20歳までだったんでちょっと早いけどまあいいかと思いつながら死んでしまったワケです。

ああもちろん私の魔陣をいじくつてくれた方には、死後幽霊となつた後にきつつちり落とし前を付けてやりましたが。（ナニをしたかはヒ・ミ・ツです。本人が死んだ方がましだ……と思うくらいの事はしましたがなにか？）

とまあこんなワケでまた現在の幽霊生活に戻りま〜す。

ほとんどグチだったけど、聴いてくれてアリガトー。

落とし前を付けた後の幽霊生活、最初の頃はアリストリーク国の中をあつちへふらふら、こつちへふらふらしながらおもしろそうな所を覗いて見て回り、時には生きてる人達を驚かし、時にはおちよくつたりをしながら、私は大いに遊びまくった幽霊生活をエンジョイしてた。

しかも私、生前の魔力をまるっとそのまんま持つて幽霊になったみたいで、いやゝ魔力全開で使つても身体はないから弱る事もないし死ぬ前よりも調子いいかも。

つてなワケで色々と開発した魔術の中でも一番ちっちゃいのを使つてイタズラして遊んでいたんですけど、幽霊になつてから時間の感覚がなくなつたみたいで、ふと何ヶ月くらい経つたんだろつて気軽に自分の家に行つてみたらなんとふっさふさだったお父様の髪が薄くなつていて髪も白髪になつていたんですよ。

変だなあと思つて国立図書館に向かった。国立図書館には私が開発した空气中の魔力を使った国歴、月日、時間が解る陣時計を寄贈してあるからそれを見に行つてみたら、なんと10年の月日が流れていたのでした。道理でお父様の髪が薄くなつてた訳よね。(違うからね?べつ別に遺伝的なものじゃなくてただちよつと心労が重なつただけなんだから?絶対にちがうんだよby父)

あゝハイハイ分かつたから変な電波飛ばさないで下さい。お父様。(ツッコんだらダメだぞお!!!)

ハツ妙な電波を拾つてしまいました。まああの父の事です。長く図太く生きて逝くでしょう。(字がちがうぞおby父)(変な電波を飛ばさないで下さい。お父様。)さてそんな事よりも10年も経つているのなら今頃王宮ではドロッド口の王太子争いの真っ最中のはず。第1王子と第2王子つてたつた数日しか生まれた日は変わらないですし、母親である王妃と側室の中はもうこれでもかつてほど

険悪ですしね。暗殺とか陰謀の匂いがプンプンします。どんな陰湿な事が起こっているのか、今からワクワクドキドキ胸が熱くなってきました。

さあ急ぎますか、待ってて下さいね陰謀と暗殺そして愛憎の混ざったドロッドロの陰湿な王位争い、いつまいつきまゝです。さあ急ぎますか、待ってて下さいね思想と陰謀の混ざったドロッドロの陰湿な王位争い、いつまいつきまゝです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2201v/>

極悪人の様なお顔の方と縁があります。

2011年7月27日03時28分発行